

ぐんま の 農業研究と普及活動

第 35 号

平成 29 年 10 月

発行 群馬県農政部

(前橋市大手町一丁目1番1号)

『食感に特徴のあるヤマトイモ ジャムの開発』



県農業技術センターでは食感に特徴のある2種類のヤマトイモジャムを開発しました。餡のような滑らか食感のクリームタイプとイモの存在感がはっきりしている粒入りタイプです。ヤマトイモは和食のイメージがありますが、ジャムにすることで洋食にも活用できるため、ヤマトイモの消費拡大に繋がることを期待しています。

目 次

- トピック [新技術等の迅速な現地普及]
 - ・イネ縮葉枯病の被害低減の取り組み…………… 1
- 研究成果等の情報
 - [県の試験研究機関で開発した最新の技術情報]
 - ・食感に特徴があるヤマトイモジャムの開発…………… 3
 - ・CO₂と湿度のコントロールで促成キュウリの収量アップ…………… 4
 - ・「ぐんま名月」のがくあ部の裂果に収穫時期が及ぼす影響…………… 5
 - ・遺伝子組換え (GM) カイコ飼育の飼料コスト削減…………… 6
 - ・「利根川サケ」の持続的な回帰に向けて…………… 7
 - ・収穫機の違いによる高糖分高消化性稲 WCS の発酵品質…………… 8
- 普及活動の実績
 - [各地域における課題解決の取り組み]
 - ・竹木伐採・粉砕による獣害対策で一体化を図る～前橋市市之関地区野生動物対策組合の取組～…………… 10
 - ・若手コンニャク栽培者の育成と組織活動支援…………… 11
 - ・「六合の花」新規参入者確保対策…………… 12
 - ・鉢花生産におけるIPMの推進…………… 13
 - ・酒造好適米の作付けによる耕作放棄地解消…………… 14
- インフォメーション
 - ・平成 31 年産から収入保険制度が始まります…………… 15